



NEWS

第12号 (H29.11.16)

編集発行：阪神シニアカレッジ・地域活動支援センター

我が母校なり、県立西宮香風高校

阪神シニアカレッジ・健康学科18期生の皆さんが専門講座として入学以来学んできた、いわば母校ともいえる県立西宮香風高校の環境整備に協力しています。

花壇づくり、竹林の整備、校舎周辺清掃等々・・・。

春には桜の下にチューリップや菜の花、パンジーを植栽。夏にはアサガオやヒマワリ、のじぎく、アジサイを植え、秋にはコスモスや小菊、リンドウやバラを、そして冬にはスイセン、ノースポール等々、年中咲いて



いる草花が香風高校の学生のみならず近隣住民の方々の心も和ませています。

また清掃活動は“無理なく長期にわたって”をモットーに、健康学科の有志の方々が校舎・校門周辺にとどまらず周辺道路にまで及び、地域に大きく貢献されています。

＊西宮学習室（健康学科）

西宮市建石町 7-43 県立西宮香風高校内



阪神シニアカレッジ 平成30年4月入学生募集

来年度の新入生を募集しています。シニアカレッジに関心をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。『募集案内』を郵送させていただきます。お友達、ご近所、お知り合いの方などにご紹介いただくと幸いです。

申込期間：平成30年1月5日（金）～2月5日（月）

募集案内の取り寄せ、その他お問い合わせ等は

宝塚事務局：0797-85-8880 まで

『聞き書きプロジェクト』に参加して

阪神ひと・まち創造講座学科主任の大杉和由です。夏真っ盛りの8月3日、ひと・まち創造講座の学生の皆さん5人と伊丹市の「ケイメゾンときめき」で開催された『聞き書きプロジェクト』に参加しました。

これは高齢者の方々と中学生との異世代交流を通して、相互のコミュニケーション力を高め合っていこうと企画されたものです。

高齢者の皆さんは自らの体験を回想し、言葉にすることで脳の活性化が期待できます。

一方中学生は、その体験談を聞いて現在との相違点を発見し、認識を新たにします。

さらにこれを聞き書きによって編集、推敲することで文章能力が高まります。

また、その貴重な資料を記録に残して自分の人生観を高めつつ、成果物を高齢者にプレゼントします。

中学生の子供たちは前もって聞き書きの説明を受け、高齢者との接し方も学習しているので会話もスムーズで、人生へのいろいろな示唆を高齢者の方々から受けたに違いありません。

そして高齢者の多くは中学生から、今を生きる若い世代の気持ちや新しいライフスタイルのもとでの親子関係を肌で感じ、理解できたのではないのでしょうか。

非常に有意義な機会になりました。



小学生のための簡単料理教室 「あかね食堂」にはじめて参加して



阪神ひと・まち創造講座7期生です。子供の食育に興味があり、阪神シニアカレッジ・地域活動支援センターに相談したところ「子ども食堂：あかね食堂」を紹介され、8月8日(火)に伊丹市のアイ愛センターで開催された「小学生のための簡単料理教室・あかね食堂」に初めて参加しました。

参加者は小学生15名(1～6年生)。子供5人が1テーブルに座り、そこに指導する大人が1～2人付きます。

メニューはライスバーガー2種(焼肉、ソーセージと目玉焼き)とチョップドサラダ、スープ(わか

料理教室では子供たちが好み、安全に調理できるメニューが考えられていました。

例えば、サラダの野菜は後一切れ包丁を入れたらよいように手際よく準備(包丁はテーブルナイフを使用)されています。

順を追って、子どもたちの調理速度に合わせた説明がされ、テーブルに付き添っている大人はその説明に沿って補助をします。

子供たちは熱心に説明を聞き、一生懸命取り組んでいる様子が見えかけました。

声掛けのタイミングや調理補助は慣れないと難しいですが、メニュー通りにできたライスバーガーをニコニコして美味しそうに頬張っている子供たちの生き生きとした表情や、明るい姿を見て大変うれしく思いました。

これからも時間の許す限り参加したいと考えています。

地域活動支援センターとは？

- ・ 学生、卒業生などが行っているボランティア活動、コミュニティビジネス、学習活動などを一層進めるため、平成 27 年、いなみ野学園及び阪神シニアカレッジに開設されました。
- ・ 登録グループの得意分野に合わせてマッチングを行うなど、活動のきっかけづくり
- ・ 助成金の情報のタイムリーな提供など、地域活動の企画・運営に関する相談
- ・ 研修会・講演会を開催し、情報を共有化
- ・ 活動成果を NEWS やホームページで紹介し情報発信

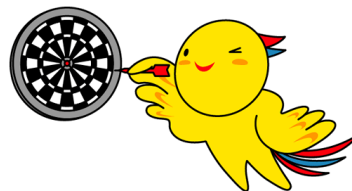


地域活動支援センターでは、皆さんが所属しているボランティア・グループ
地域活動団体、カレッジのクラブなどのイベント情報・会員募集情報などの
情報提供をお待ちしています

情報提供・お問い合わせ等は
伊丹学習室：072-784-1602 まで



合唱団とJダーツ



はじめまして、阪神シニアカレッジ・国際理解学科
21 期生の深田春二です。私は地域で合唱団と J ダーツをやっています。

J ダーツは、「楽しみましょう健康づくり」を理念に 1999 年 4 月西宮市で誕生、発足しました。高齢者も楽しめる優しいルールで自ら点数計算を行う

など認知症の予防にもなります。

西宮の各公民館ではJダーツを通じ世代を超えた交流・体験教室が幅広く実施されています。

また芦屋や尼崎の高校では、公開体験講習会が開催されています。

私も、高齢者や子供たち、身体にハンディキャップを持つ人々がスポーツを楽しめる環境づくりを使命として、これからも活動を展開していきます。

Jダーツに興味のある方は、ぜひご連絡下さい。

[Jダーツ西宮支部所属 深田 春二 090-1875-5889]



阪神シニアカレッジ・園芸学科が『花のみち』沿いの花壇で植栽実習



好天に恵まれた5月25日、阪神シニアカレッジ・園芸学科の2年生は但馬高原植物園から田丸和美さんを講師に招いて、春の植栽実習を行いました。

朝までの雨模様がまるで嘘のように、さわやかな陽光に包まれて、阪急宝塚駅から宝塚歌劇場に至る『花のみち』の南端、劇場入口・真正面の花壇でおよそ40人の手による植え替えが手際よく進みました。

このように阪神シニアカレッジでは毎年、校外の街路で草花苗の植栽実習を行っています。今年はベゴニアやアゲラタムなど10余りの品種の草花240株を植えました。

園芸学科では、園芸の知識の探求、園芸の技術の取得と向上、園芸活動の体験の三位一体を目指していますが、学びの成果が地域で活かされることの喜びを体感していただくことを何よりも大切にしていきたいと考えています。

